生産性向上支援訓練オープンコースのご案内 ⑲

令和７年度
第２弾

作業手順の作成による ノウハウの継承

コース番号：080-038

開催日時：2025年 11月5日(水) 9：30～16：30（６時間）

募集締切：10月22日(水)

受講料 3,300円（税込）

開催場所：ポリテクセンター山梨

定　　員：16名程度（先着順）

推 奨 者：中高年齢層 ※このコースは原則として45歳以上の方が対象ですが、それ以外の方も受講できます。

コースの狙い

後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員の作業の見える化を行い後輩従業員が習得すべき作業手順の作成に係る知識と技能を習得します。

実施機関＆講師

株式会社TASCI
代表取締役
三浦 丈矢氏

講師Profile

大学卒業後、大手住宅メーカー、外資系生命保険会社を経て、研修会社に入社。
製造、製薬、不動産業界他、多岐にわたる業界にて、研修講師やコンサルティングを担当する。
その後、株式会社TASCI（タスキ）を設立し、代表取締役を務める。マネジメント、業務改善、営業等を中心に多くの研修やワークショップを実施。今までに行った研修やワークショップの受講者人数は、延べ20,000人以上に及ぶ。

主な訓練内容

◎ **ナレッジマネジメント**

(1) ナレッジマネジメントとは

ナレッジマネジメントとは何か、重要性について学習します。

・ナレッジマネジメントとは何か
　【演習】ナレッジマネジメントはなぜ必要か
・ナレッジマネジメントの必要性（効果）

◎ **作業分解**

(1) 作業（行動）分解

暗黙知を形式知にすること（ノウハウの可視化・言語化）について学習し、演習を通して理解を深めます。

・形式知と暗黙知・暗黙知の形式知化
　【演習】ノウハウを形式知にする

◎ **作業手順の作成**

(1) 作業手順書

作業手順書の目的・必要性、効果について学習します。

【演習】作業手順書は何のためにあるか
・作業手順書の目的と必要性
・作業手順書の効果

(2) 作業手順の作成

作業手順の作成方法、フォーマットについて、また、作業手順書の留意点、工夫例等を学習します。

・作業手順書作成のポイント
・目的と目標
　【演習】業務の目的と目標
・手順化（暗黙知の形式知化）
・作業分解
・文章の留意点
　【演習】手順の文章修正
・写真や図の挿入
　【演習】写真や図の検討
・留意点や異常対応
　【演習】留意点や異常対応の追加

(3) まとめ

研修のまとめとして、今後の行動向上計画を作成し、職場での実践を促します。

○ 訓練内容のココがポイント！

・形式知にするための手法、作業手順の作成方法が習得できるコースで、演習では、実務ベースで、実際に作成手順書の一部を作成します。
・参加型学習でディスカッションや演習を交えながら学習します。

お申し込みは

※ 当HP内「令和７年度オープンコース第２弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース第２弾受講申込書」があります。